



2018.9.1 - 2019.8.31

BUSINESS REPORT

2019年8月期



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 **コシダカ** ホールディングス



証券コード2157

上場以来12期連続の増収増益を達成。

新たな決断を実行し、カラオケ・カーブス双方の事業成長の早期実現を図ってまいります。



代表取締役社長 腰高博

Q.1 当期の業績はいかがでしたか？

おかげさまで、当期の連結業績は上場以来12期連続の増収増益となるとともに、前期に引き続き、売上・利益ともに過去最高を更新しました。また、これを受けて、株主の皆様への配当金（年間配当）につきましても、同様に12期連続の増配とすることができました。

Q.2 カラオケ事業は2桁の増収増益となりましたね

カラオケ事業の業績は、売上高が前期比11.9%増、営業利益が同43.3%増と、大幅に伸長し、ともに過去最高となりました。

この躍進の主な要因は、第一に既存店の好調です。既存店の売上高は全12か月で前年同月比100%超となりました。全国500店舗超の事業規模での達成は極めて画期的な出来事であると評価しております。第二に、持続的な新規出店です。駅前繁華街を中心とした出店にシフトして約3年、大きな成果を上げてきました。

第三に、来店客増を狙ったマーケティング施策の成功がありま

す。新たに導入した会員サービスアプリ「まねぎねこアプリ」が好評を博し、登録者数は246万人へと急拡大しております。また、大学生・短大生・専門学校生専用の「まふ」（まねぎねこフリータイム）が平日夜～深夜の客数呼び戻しに効果を発揮し、一定の条件を満たせば小中学生が無料となる「まねぎde家族割」が日中の集客増に寄与しました。加えて、従来の高校生向けの「ZEROカラ」やシニア層向けの「朝うた」なども引き続き高い支持を得ております。これらの施策が功を奏し、来店客全体が大きく伸長しました。

Q.3 カーブス事業は、成長鈍化がみられるものの、増収増益を堅持していますね

カーブス事業の業績は、売上高が前期比0.4%増、営業利益が同6.3%増となり、ともに過去最高を更新しました。店舗数も同79店舗の純増となり、国内2,000店舗の達成が間近となっております。ただ、残念ながら会員数が同5,000人減少し、従来のビジ

ネスモデルでは成長の限界が近づいているため、当期は顧客満足度向上に伴う退会率の低減、新業態「メンズ・カーブス」の出店など、将来を見据えた取り組みにも注力しました。

Q.4 今回発表されたカーブス事業の「株式分配型スピノフ」の目的と今後のスケジュールを教えてください

本邦初となる株式分配型スピノフの目的は、「両社の成長の最大化」、ひいては「株主価値の最大化」です。

本スピノフの結果、当社はカラオケ事業に経営資源を集中し、全社員が改めて一丸となって成長戦略を推進できると考えていま

す。また、カーブスHDについては、役職員のモチベーション向上、単独上場による知名度・ブランド価値の更なる向上、人財確保など、事業運営への効果の大きさは計り知れません。

➡ 株式分配型スピノフの詳細については右ページをご参照ください

Q.5 2020年8月期からは、中期経営計画を始動していますね

カーブス事業のスピノフを新たな成長のスタートラインと位置づけ、各事業の成長戦略を策定しました。

カラオケ事業では、「エンタメをインフラに」という目標を掲げた中期経営計画をスタートしました。そのために2019年8月末現在11,400室を数えるカラオケルームを、5年後の2024年8月末には20,000室へ、そして当面の最終目標として30,000室の早期実現を目指します。この水準は、国内カラオケ市場の25%程度のシェアとなり、いわば、当社創業の地の群馬県で実現しているシェアを全国にも広げていく取り組みです。

こうした大規模なインフラを、将来的には多様なエンタメを提供していく場、いわば「プライベートエンターテイメントルーム」に進化させてまいります。日本発のカラオケは全世界へと広がり、今や“文化”として定着しています。しかし、現状のままでは陳腐化し、やがてカラオケ業界は存亡の危機さえ迎える恐れがあります。「プライベートエンターテイメントルーム」への進化は、世

の中に“新たな文化”を創造・提案する当社独自の挑戦です。その成功に向けて今後、M&Aや業務提携についても積極的に検討していく考えです。

また、カーブス事業では今後、国内では現在の約2,000店舗から6年後の3,000店舗へと拡大を目指し、新たな世代層の獲得や「メンズ・カーブス」の本格化を推進します。そして海外では、グローバルフランチャイザー買収や欧州8か国でのFC本部事業の買収などを基礎に、新たな成長ポテンシャルを追求するための成長基盤を整備していきます。

今回決断したカーブス事業のスピノフは、カラオケ事業とカーブス事業の今後の成長を大きく後押しし、株主価値の向上に資するものと確信しております。

株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通期業績予想

現在実施予定のカーブス事業株式分配型スピノフに関して、東京証券取引所の承認が得られた場合、承認が得られなかった場合で財務情報が異なります。今回のBUSINESS REPORTでは、2通りの財務情報を株主の皆様へお伝えします。

スピノフなし

(百万円) ※百万円未満切り捨て、%は小数点第2位で四捨五入

	2019年 8月期	2020年 8月期 (予想)	前年同期比	
			増減率	増減額
売上高	65,840	72,029	+9.4%	+6,189
営業利益	9,507	11,054	+16.3%	+1,547
経常利益	9,562	11,049	+15.5%	+1,487
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,226	7,369	+18.3%	+1,143
1株当たり配当金(円)	12.0	16.0		

スピノフあり

(百万円) ※百万円未満切り捨て、%は小数点第2位で四捨五入

	2019年 8月期	2020年 8月期 (予想)	前年同期比	
			増減率	増減額
売上高	65,840	57,209		
営業利益	9,507	8,084		
経常利益	9,562	8,125		
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,226	5,482		
1株当たり配当金(円)	12.0	12.0		

セグメント別業績予想

	2019年 8月期	2020年 8月期 (予想)	前年同期比	
			増減率	増減額
売上高	65,840	72,029	+9.4%	+6,189
カラオケ	35,732	40,511	+13.4%	+4,779
カーブス	28,036	29,236	+4.3%	+1,200
温浴	1,640	1,664	+1.5%	+24
不動産管理	431	618	+43.4%	+187
営業利益	9,507	11,054	+16.3%	+1,547
カラオケ	4,518	5,557	+23.0%	+1,039
カーブス	5,679	5,790	+2.0%	+111
温浴	108	176	+63.0%	+68
不動産管理	59	19	△67.8%	△40
調整額	△858	△487		

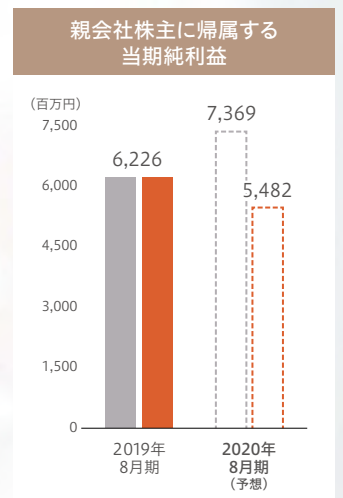
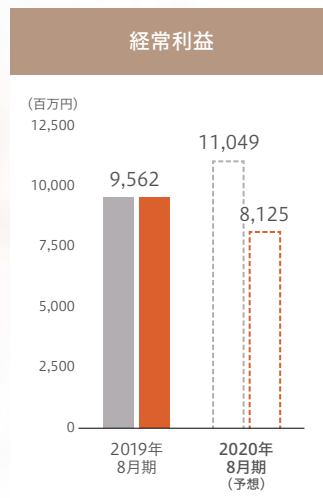
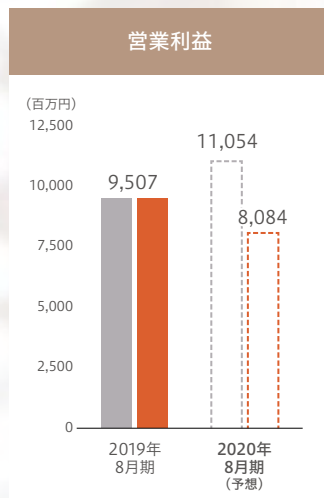
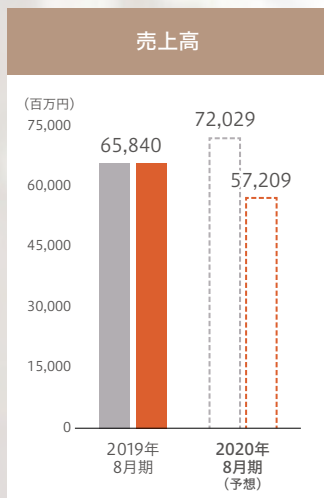
セグメント別業績予想

	2019年 8月期	2020年 8月期 (予想)	前年同期比	
			増減率	増減額
売上高	65,840	57,209		
カラオケ	35,732	40,511	+13.4%	+4,779
カーブス	28,036	14,416		
温浴	1,640	1,664	+1.5%	+24
不動産管理	431	618	+43.4%	+187
営業利益	9,507	8,084		
カラオケ	4,518	5,557	+23.0%	+1,039
カーブス	5,679	2,819		
温浴	108	176	+63.0%	+68
不動産管理	59	19	△67.8%	△40
調整額	△858	△487		

【ご参考】 連結業績には、カーブス事業の第2四半期累計分(2019年9月~2020年2月)が反映されます。

※カーブスホールディングス株式会社は2020年3月2日(月曜日)付で株式会社東京証券取引所(以下「東証」という。)への上場を予定しております。但し、今後の日本取引所自主規定法人による上場審査の結果、東証より上場承認を得られることが前提となるため、現時点で確認されたものではありません。

■ スピノフなし ■ スピノフあり



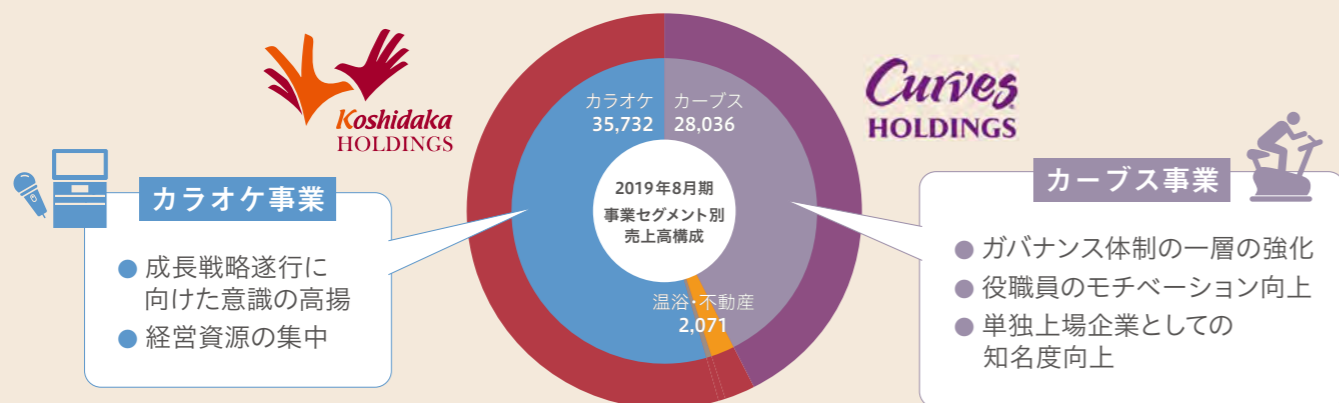
今後の事業展開と成長戦略について

当社グループの主力事業である「カラオケ事業」と「カーブス事業」は、新たな成長のステージへと上ろうとしています。2020年8月期を初年度とする中長期的な成長戦略をそれぞれに策定しました。新たな成長に向けた両事業のチャレンジングな計画と戦略を簡単にご紹介します。

カーブス事業をスピノフ(分離・独立)

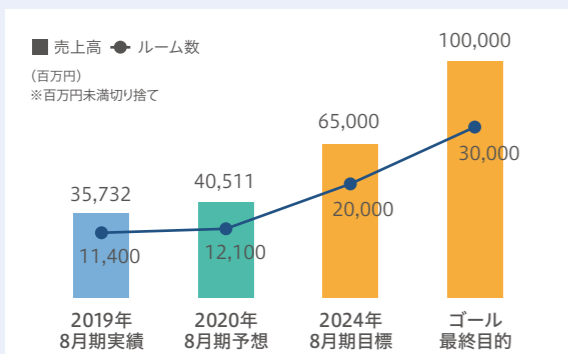
当社は下記の目的に基づき、保有する子会社「株式会社カーブスホールディングス」(以下、カーブス HD)の全株式を、現物配当により当社株主に分配(株式分配型スピノフ)する決断を行いました。株主総会の決議、東京証券取引所の上場承認等を経て、カーブスHDは2020年3月2日に独立した株式上場企業となる予定です。これにより、現在の当社株主の皆様は、当社とカーブスHD両社の株主となります。

スピノフの目的 両社の成長の早期実現



中期経営目標と戦略の方向性

カラオケ事業



中期経営計画

「EIP」(Entertainment Infrastructure Plan) エンタメをインフラに

カラオケ事業では、「エンタメをインフラに」というビジョンを掲げ、駅前・繁華街出店の加速や人財の大量採用・育成などによって、現在のルーム数を5年後に倍増、当面の最終目標として3倍まで増加させ、1,000億円企業への成長を目指します。

カーブス事業

	2019年 8月期実績	2025年 8月期目標
国内グループ店舗数	1,991店舗	3,000店舗
国内グループ会員数	82.2万人	135.0万人
チェーン売上高	702億円	1,300億円
欧州店舗数	188店舗	300店舗
欧州会員数	4.9万人	10.0万人

➡ 欧州モデルをグローバル展開へ

中期経営ビジョン

病気と介護の予防に貢献する社会問題解決企業、健康寿命延伸企業としての成長戦略を追求

カーブス事業では、上記のような経営ビジョンを掲げ、国内外で新たな挑戦を推し進めることにより、新たな市場を創出し、持続的な成長を目指します。また、株式上場後は株主価値最大化を図るべく、連結配当性向50%程度を目指します。

人々のワクワクを増やす!

カラオケ事業の強化

中期経営計画「EIP」では、右の図のように、「日本の隅々までカラオケルームを作る」から始まる3つのステップで、「エンタメをインフラに」というビジョンの実現を目指します。そのための具体的な戦略として、「駅前・繁華街出店の加速化」や「人財の大量採用と育成」などを推し進めます。

「エンタメをインフラに」

日本の隅々までカラオケルームを作る

娯楽を人々の生活上なくてはならないものにする

全世界の人々に究極の安寧を提供

駅前・繁華街出店の加速化

駅前・繁華街を中心とした出店を推し進めるなか、効率アップや魅力維持などの観点から、店舗の大型化や増室・リニューアルなども積極的に実施します。



人財の大量採用と育成

今後の出店加速に不可欠となるのが、「人財」です。当社は、勤務地限定採用や勤務時間限定採用など、多様な人財の獲得を可能とするための工夫をはじめ、採用手段の多様化を推し進め、必要な人財の確保を図ります。また、質の高いサービスの基礎となる人財の育成やモチベーション向上のため、研修制度や福利厚生制度の拡充にも注力します。

継続的な取り組み

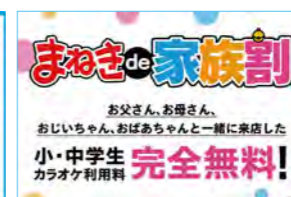


飲食メーカーとのコラボメニュー

当社のカラオケ事業は、常に新たな提案を業界に先駆けて行っています。「まふ」や「家族割」など顧客属性別の料金施策、確実なファン層を持つ飲食メーカーとのコラボによる差別化されたメニューの提供、「まねきねこアプリ」など独自のシステム導入など、この1年だけでも、非常に多くの新提案が誕生しています。今後もこうした取り組みを継続し、お客様からの支持を基礎に成長を続けていきます。



顧客属性別の料金施策



独自のシステム導入

「既存業種新業態」の開発

中長期的に新市場を創出するべく、当社は創業以来の経営姿勢である「既存業種新業態」の取り組みを推し進めていきます。海外展開については、今後、マレーシア、タイ、インドネシアなど経済発展著しいASEAN諸国への進出を強化していきます。また、カラオケルームの未来像として、カラオケ以外の多様なエンターテインメントを提供する「プライベートエンターテインメントルーム」の創造を標榜し、今後、実験的な取り組みを含め積極的な挑戦を行っていきます。

機器販売

当社が保有する日本語楽曲を活用

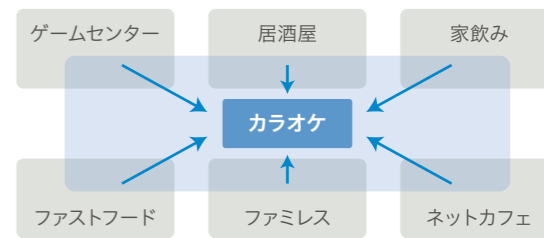


積極出店



カラオケ以外のエンターテインメントの提供

カラオケ以外の需要の取り込み



Information

会社の概要 (2019年8月31日現在)

会社名 株式会社コシダカホールディングス
 英訳名 KOSHIDAKA HOLDINGS Co., LTD.
 設立年月日 1967年3月31日
 東京本社 東京都港区浜松町二丁目4-1
 世界貿易センタービルディング23階
 前橋本社 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
 資本金 20億7,025万7,500円
 事業内容 カラオケ事業(店舗数: 国内525店舗、海外21店舗)
 カープス事業(加盟店舗数: 1,991店舗)
 温浴事業(店舗数: 5店舗)
 従業員数 グループ従業員 4,691名
 (正社員 1,322名、パート・アルバイト 3,369名)
 パート・アルバイトは1日8時間換算人数

役員 (2019年8月31日現在)

代表取締役社長 腰高 博 社外取締役(監査等委員) 西 智彦
 専務取締役 腰高 修 社外取締役(監査等委員) 寺石 雅英
 常務取締役 朝倉 一博 社外取締役(監査等委員) 森内 茂之
 常務取締役 腰高 美和子
 常務取締役 土井 義人

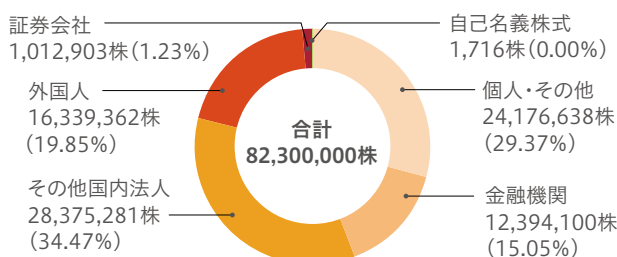
大株主 (上位5名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	21,328,000	25.92
腰高 博	9,240,000	11.23
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE FIDELITY FUNDS	4,981,600	6.05
株式会社アイエムオー	3,784,000	4.60
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,720,500	4.52

株式の状況 (2019年8月31日現在)

発行可能株式総数 307,200,000株 株主数 22,413名
 発行済株式の総数 82,300,000株

所有者別株式分布状況 (2019年8月31日現在)



株主メモ (2019年8月31日現在)

事業年度 毎年9月1日から翌年8月31日まで
 定時株主総会 毎年11月下旬
 基準日 毎年8月31日
 定時株主総会・期末配当
 中間配当 毎年2月末日
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
 住所変更のお申し出について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
 なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。
 「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
 ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いいたします。
 ※確定申告をされる株主様は、大切に保管ください。

株主優待について

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、投資魅力を高め、当社株式をより中長期に保有していただくことを目的として、株主優待制度を拡充・変更いたしました。

株主優待拡充についてのご案内

従来の株主優待制度を維持した上で、3年以上継続して当社株式を保有している株主様に対して、右表の通り優待内容を拡充いたしました。

適用の期間に関して

2018年8月末日現在の株主名簿に記載または記録された株主様より、新制度を適用させていただきます。なお、新制度における継続保有期間の判定については、2018年8月末日から過去に遡って実施いたします。

株主優待内容の変更箇所

株主の皆様に一層ご利用いただきやすいものとなるよう、右表の通り優待内容を変更いたしました。

保有株式数(分割後)	継続保有期間3年未満	継続保有期間3年以上
対象となる株主様	2019年8月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単元(100株)以上を保有されている方	毎年8月末日及び2月末日の株主名簿に「同一の株主番号」で連続して7回以上記載または記録されている方
100株~399株	2,000円相当の株主優待券* 3,000円相当のカタログギフト	4,000円相当の株主優待券* 3,000円相当のカタログギフト
400株~3,999株	5,000円相当の株主優待券* 3,000円相当のカタログギフト	10,000円相当の株主優待券* 3,000円相当のカタログギフト
4,000株以上	5,000円相当の株主優待券* 5,000円相当のカタログギフト	10,000円相当の株主優待券* 5,000円相当のカタログギフト

※株主優待券は、当社が運営する日本全国のカラオケまねきねこ、ひとりカラオケ専門店ワンカラ、温浴施設でご利用いただけます。
 ※株主優待券は上記区分に即して、1,000円券を当該金額枚数分、進呈いたします。

変更前	変更後
他の割引券と併用は不可	他の割引券と併用可能に
温浴施設の優待券使用は1,000円まで (カラオケの優待券使用は5,000円まで)	温浴施設の優待券使用もカラオケと同じく5,000円に統一



株式会社コシダカホールディングス

〒105-6123 東京都港区浜松町二丁目4-1 世界貿易センタービルディング23階
 電話 03-6403-5710(代) Fax 03-6403-5727



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。